

NHK文化センター企画監修（千葉教室・柏教室） 奥田一重先生と行く第77回正倉院展と 聖武天皇ゆかりの地 琵琶湖畔の古寺と遺跡を巡る



「旅のお勧め」

正倉院展は、今年で77回目とひとつの節目を迎えます。この展示会は、太平洋戦争敗戦の翌年昭和21年、戦争で打ちひしがれた日本人への「奈良時代の人々からのメッセージ」のように始まりました。それから77年間も、そのメッセージは送り続けられています。

1300年間にわたり保存されてきた宝物は9000点余にのぼります。その内、これまで凡そ4000点の宝物が公開され、我々に古代の人々の様々な物語を伝えてきてくれました。今年も60点余の宝物が展示される予定です。奈良時代、天平文化の下で花開いた宝物は、現在の日本の制度や文化の基礎が築かれた時代の象徴でもあります。今回の展示宝物は、海外の国や地域との文化や物の交流が当時盛んであったことを感じさせるものが多く展示されています。いわば「古代の海と陸のシルクロードの薫り」を思わせる宝物が目につきます。さて、今年の正倉院展は私たちにどのように古代からのメッセージを伝えてくれるのでしょうか。

2日目は、琵琶湖畔周辺に聖武天皇の足跡を辿り、宮都であった紫香楽宮とゆかりの寺々を訪ねます。聖武天皇は5年間にわたり平城京を離れて琵琶湖周辺の地を転々と回りました。その目的は「第二の宮都探し」或いは「乱や疫病」を避ける為ともいわれています。恭仁京、紫香楽宮、難波宮などです。そして紫香楽宮を都として定め、この地で「大仏建立の詔」を発し、建立を開始します。しかし災害等に阻まれた為、再び平城京に戻り、東大寺で本格的な建立を計ります。ツアーでは大仏建立の為に建てられた寺跡に訪れ、また聖武天皇や東大寺にゆかりのある滋賀県内の古寺を巡ります。そこでは、土地の人々が何代にも渡ってひっそりと守り続けている仏たちが微笑み、往時を偲ばせてくれることと思います。

奥田 一重

【講師 奥田一重先生プロフィール】

奈良市観光大使
元NHK正倉院プロジェクト取材班
統括プロデューサー、
日本記者クラブ会員



●正倉院に関する著作
「ドキュメント正倉院」日本放送出版協会／「正倉院の宝物・ビデオシリーズ」NHKエンタープライズ

※日程は現地事情・交通事情等により変更になる場合もございます。

	日付	スケジュール
1	11/05 (水)	ホテル日航奈良（12:45集合予定） ホテルにて 奥田先生による「正倉院展見学の事前講座」（13:00～13:50予定） ホテル ---（公共路線バス）--- 奈良国立博物館 「正倉院展」各自鑑賞*特別展（予定：15:00～） その後自由行動 ※夕食は各自にて（ご夕食オプションあり） ホテル日航奈良（泊）
2	11/06 (木)	ホテル出発（07:45予定）専用バスで滋賀県へ ■紫香楽宮（聖武天皇の宮都）■金勝寺（聖武天皇の命で良弁僧正が創建） ■昼食（牛まぶしを予定）■常楽寺（紫香楽宮の鬼門鎮護の寺） ■石山寺（聖武天皇の勅願で良弁僧正が聖徳太子の念持仏を祭ったとされる） ■JR大津駅解散（16:30頃予定）

旅行条件＜募集要項＞

■旅行期間：2025年11月5日(水)～2025年11月6日(木) 1泊2日

■旅行代金：2名1部屋利用：79,000円 / 1名1部屋利用：83,000円
*集合解散場所までの費用は含まれておりません。

■旅行代金に含まれるもの：ホテル1泊・朝食1回・昼食1回・専用バス代・タクシー移動代(金勝寺で利用)・見学費用・講師費用・添乗員費用

■募集人数：25名(最少催行人数15名)

■募集締切日：2025年10月10日(金)*定員になり次第締め切りとなります。

■添乗員：集合場所から解散場所まで1名同行致します。 ■宿泊先：ホテル日航奈良(1泊)

■利用予定バス会社：奈良観光バス株式会社(貸し切り専用バス)

■集合：JR奈良駅(12:45集合予定) 解散：滋賀県JR大津駅(16:30頃解散予定)

*催行決定となりましたらお客様にご連絡いたします。交通手配(新幹線・航空予約等)をお願いいたします。

正倉院展

◆海と陸のシルクロードの宝物

- ・瑠璃杯・木函紫檀双六局・花氈・鳥獣花背円鏡
- ・平螺鈿背円鏡・黄熟香・伎楽面・桑木阮咸
- ・甘竹簫・投壺・牙笏

◆国内の宝物

- ・鳥毛篆書屏風・黒柿蘇芳染金銀山水絵箱
- ・漆塗鞘御杖刀・天平宝物筆・縹縷・白石火舎
- ・漆皮箱・子目目利帯・粉地彩絵倚几



◆紫香楽宮

天平15（744）年、聖武天皇はここで「大仏建立の詔」を出し、大仏建立を開始、この地を宮都と定めた。甲賀寺跡には聖武天皇が大仏建立を始めたときとみられる遺跡が石碑とともに残されている。また、近年発掘された2棟の巨大な調停建物跡も保存されている。

*信楽焼

聖武天皇の紫香楽宮建設の為に河原を焼いたのが始まりとされる。その後も水瓶・茶器・火鉢などに受け継がれ、現在では狸が名物。

◆常楽寺

琵琶湖の南、湖南三山のひとつ。紫香楽宮の鬼門（鬼神の出入りする方角）を守る鎮護の寺としてつくられた。本尊（秘仏）を守る二十八部衆像は京都の三十三間堂の二十八部衆に並び貴重なものとされる。檜皮葺の本堂や三重塔などは美しく国宝にも指定されている。

◆石山寺

天平19（747）年、聖武天皇が大仏建立のための金発掘を願い、念持仏を作り建立した寺。その後、奥州で実際に黄金が発掘され、寺は隆盛した。寺は、風光明媚な琵琶湖湖畔にあり、平安時代に入っても紫式部など女流歌人に好まれた。

滋賀県の遺跡と古寺

◆金勝寺

かつてはこの地域の大本山であった静寂に包まれた寺。天平5（733）年、聖武天皇の名を受けて大仏建立に尽くした良弁が創建した。仏像は大きく逞しい。中でも軍荼利明王は像高3mを超える。良弁は、聖武天皇・光明皇后の信頼厚く、東大寺の初代別当となった。

お参りするお寺は坂道・階段が多いです。歩きやすいお靴でご参加ください。